

太極拳を始めて1年半の松原洋さん（立仙・47歳）は「健康法として具合がいいです」

太極拳は奥が深くて難しいですが、だからこそ続けられたのでしょうか。一種の健康法として1週間に1回やることで、とても具合がいい。いつもじゃありませんが、無我の境地になることもあって、長く続ければ精神的な面でもいいのでは。（13ページに案内記事）



秋でなくともいいん

子供たちにいい本をと高山絹枝さん（山田・34歳）は絵本の読み聞かせをしています。

私を含め7人のボランティアで毎週土曜と水曜に町立図書館でやっています。子供たちが本に親しめるようにと始めました。子供とのコミュニケーションにもいいし、どんな本がいいかの参考にもなります。ただ、図書館は本が全体に少ない感じなのが残念です。



北部地区公民館の版画教室の皆さんは今年最後の専業に来年のカレンダーを作っています。

最近は年賀状もワープロが増えてきたようですが、それではありがたみが薄いような気がしますませんか。そこで、今年手作り版で出してはいかが？ 私たちの教室の講師の金子さんが手ほどきします（12ページに案内記事）。お子さんといっしょにどうぞ。



あなたと
町をつなぐ

広報

くるさき

1991
11
No.338

横山紀子さん（興野2）は「クイック」の仲間と週2回、バドミントンを楽しんでいます。

バドミントンを初めて3年弱。始める前はハネつき程度と思ってたんですけど、なかなかハード。でも根がスポーツ好きなので、楽しいですね。初心者教室（14ページに案内記事）がありますが、参加者の皆さん、その後はグループに入っていっしょに続けましょう。



ですが

北部地区公民館のカメラ教室に参加した小林梅子さん（寺地）は「撮る楽しみ味わえれば」

写真はまったく初めてで、カメラのことは何も知らないんです。うちにカメラはあるし、旅行へ行ったら撮れたらと思いカメラ教室に参加。参加者の間で同好会ができたので写真を撮る楽しみを味わえればと続けて参加しました。文化祭にもみんなで出展します。



スポーツの秋、読書の秋
芸術の秋 6題

「バスケットボールは少しきついかもしれませんが楽しめますよ」と言う三本佳寿子さん

（中学通・写真右）は3年前からバスケットボール同好会に。「県内でも女子のチームが増えてますよ」。半年前に入った山際清光さん（木場八割・左）は「まだ男女とも練習するにも人数が足りないくらい。経験者もそうでないかたも歓迎です」（14ページに案内記事）

